


1. 事業説明シート

<b>事業名</b>	砂防事業 [火山砂防事業（国補）]	<b>事業箇所</b>	北杜市須玉町小尾地先	<b>地区名</b>	西川（ニシカワ）	<b>事業主体</b>	山梨県																																															
<b>（1）事業の概要</b> ①課題・背景 本溪流は、流域面積0.54km <sup>2</sup> の土石流危険溪流である。堰堤下流は近年の豪雨等により、溪岸浸食が著しく河床に不安定土砂化して堆積しており、氾濫の危険性が高まっている。 保全対象には、第2次緊急輸送道路である県道原浅尾葦崎線が存在し、台風、集中豪雨の際には下流域に重大な土石流災害の危険性が高いため、溪流保全工の設置が急務である  ②整備目標・効果 □主要目標 ○土石流被害の防止 ・災害実績 無 <table style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">整備前</td> <td style="text-align: center;">整備後</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">土砂整備率</td> <td style="text-align: center;">0%</td> <td style="text-align: center;">→ 100%</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">流木整備率</td> <td style="text-align: center;">0%</td> <td style="text-align: center;">→ 100%</td> </tr> </table> ※整備率は溪流保全工の範囲を対象とした。 ・重要公共施設の有無 有 県道 原浅尾葦崎線  □副次目標 ー □副次効果 ー					整備前	整備後	土砂整備率	0%	→ 100%	流木整備率	0%	→ 100%	<b>（3）事業の妥当性評価</b> ①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か） <span style="float: right;">妥当 妥当でない</span> <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/> 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当  ②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか） <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/> 砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当  ③経済妥当性 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>450 百万円</td> <td>工期</td> <td>R3~R12</td> <td>基準年</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>372 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">936 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>372 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td colspan="2">202 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>百万円</td> <td>人身被害抑止</td> <td colspan="2">51 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>百万円</td> <td>公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">95 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>百万円</td> <td>その他※</td> <td colspan="2">588 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3">2.5</td> </tr> </table> ※その他は応急対策(家計)、人的被害(精神的損失) 費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている				総事業費	450 百万円	工期	R3~R12	基準年	R2	経済効率性	費用	372 百万円	便益	936 百万円		建設費	372 百万円	一般資産被害抑止	202 百万円		維持管理費	百万円	人身被害抑止	51 百万円			百万円	公共土木施設等被害	95 百万円			百万円	その他※	588 百万円		B/C			2.5		
					整備前	整備後																																																
土砂整備率	0%	→ 100%																																																				
流木整備率	0%	→ 100%																																																				
総事業費	450 百万円	工期	R3~R12	基準年	R2																																																	
経済効率性	費用	372 百万円	便益	936 百万円																																																		
	建設費	372 百万円	一般資産被害抑止	202 百万円																																																		
	維持管理費	百万円	人身被害抑止	51 百万円																																																		
		百万円	公共土木施設等被害	95 百万円																																																		
		百万円	その他※	588 百万円																																																		
B/C			2.5																																																			
<b>（2）整備内容</b> ①整備内容 溪流保全工 L=300m  ②着手年度 令和3年度                      ③完成見込年度 令和12年度  ④総事業費 約450百万円（国費247.5百万円(5.5/10)県費202.5百万円(4.5/10)）  ⑤年度別の整備内容 (事業費) <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">令和3年度</td> <td style="width:60%;">詳細設計・用地測量</td> <td style="width:25%;">10百万円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>用地取得・立木補償</td> <td>40百万円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>溪流保全工事</td> <td>50百万円</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>溪流保全工事</td> <td>50百万円</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>溪流保全工事</td> <td>50百万円</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>溪流保全工事</td> <td>50百万円</td> </tr> <tr> <td>令和9年度</td> <td>溪流保全工事</td> <td>50百万円</td> </tr> <tr> <td>令和10年度</td> <td>溪流保全工事</td> <td>50百万円</td> </tr> <tr> <td>令和11年度</td> <td>溪流保全工事</td> <td>50百万円</td> </tr> <tr> <td>令和12年度</td> <td>溪流保全工事</td> <td>50百万円</td> </tr> </table> ※記載内容は見込みであり、確定したものではない。				令和3年度	詳細設計・用地測量	10百万円	令和4年度	用地取得・立木補償	40百万円	令和5年度	溪流保全工事	50百万円	令和6年度	溪流保全工事	50百万円	令和7年度	溪流保全工事	50百万円	令和8年度	溪流保全工事	50百万円	令和9年度	溪流保全工事	50百万円	令和10年度	溪流保全工事	50百万円	令和11年度	溪流保全工事	50百万円	令和12年度	溪流保全工事	50百万円	④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/> 流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である  ⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/> 地形・地質及び流域の状況から土石流対策として最も効果的かつ経済的な砂防施設計画とした  ⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/> 掘削法面等に緑化等を施し、環境負荷に配慮  ⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> ○ <input type="checkbox"/> 地元の要望に基づいている <p style="text-align: center;"><b>総合評価</b> <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">[貢献度ランク：a]</span></p>																				
令和3年度	詳細設計・用地測量	10百万円																																																				
令和4年度	用地取得・立木補償	40百万円																																																				
令和5年度	溪流保全工事	50百万円																																																				
令和6年度	溪流保全工事	50百万円																																																				
令和7年度	溪流保全工事	50百万円																																																				
令和8年度	溪流保全工事	50百万円																																																				
令和9年度	溪流保全工事	50百万円																																																				
令和10年度	溪流保全工事	50百万円																																																				
令和11年度	溪流保全工事	50百万円																																																				
令和12年度	溪流保全工事	50百万円																																																				
<b>（4）事業位置図等</b> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">位置図</div>  </div>																																																						
<b>⑥既整備内容・期間・事業費</b> 既整備内容 砂防堰堤1基 期間 平成21~30年度																																																						



## 2. 添付資料シート

